

樹液分析結果

< 分析結果 > 第1回目

< 分析センター >

パイオニアエコサイエンス(株) PSラボ/MRDC
〒321-0923
栃木県宇都宮市下栗町695-6
TEL 028-688-0391 FAX 028-688-0392

< 分析依頼者 >

農家名 **様**
作物 トマト
ブロック
ステージ
かん水

	低い	やや低い	適正	やや高い	高い
硝酸態チツソ					
リンサン					
カリ					
カルシウム					
マグネシウム					
亜鉛					
銅					
マンガン					
鉄					
ホウソ					
イオウ					

Brix(樹液濃度) 1.5

< 診断 > 担当者 採取日 平成 年 月 日 分析日 平成 年 月 日

かん水メニュー (点滴チューブ T-テープ / ロードリップ)

1週間分の処方	%・kg / 10a	月	火	水	木	金	土	日	合計
A PSパワーアミノ2号 (8-5-5-1-微量元素)		2.5		2.5					5
A 硝酸カリ (13-0-46)		0.5		0.5					1
A 第一リン酸カリ (0-51-33)		0.5		0.5					1
A PSカル (キレートカルシウム)		0.25		0.25					0.5
A PSマグ (キレートマグネシウム)		0.3		0.3					0.6
B PSリンク (土壌活性剤)							0.2		0.2
B PSマリンパワー (海藻エキス)							0.3		0.3
B アーキア酵素むげん							0.3		0.3
C PSキレート5 (微量元素)							0.3		0.3
C PSコレイーネ (有効微生物資材)							0.1		0.1

A(5種類は混用可/生育肥と実肥)と、B(3種類は混用可/土壌リセットと発根促進)は、別々に与えて下さい。尚、C(2種類は混用可/土壌中の有効微生物の増殖)を、Bと交互に施用して下さい。

葉面散布

PSマリンパワー	発根、光合成の促進。
アーキア酵素むげん	養分転流の促進。
PSキレート5 (微量元素剤)	微量元素の補給。葉色(マダラ)の改善。
PSパワーアミノ2号	樹勢の維持。
PSダッシュMEネオ	着果、果実の肥大促進。茎葉の強化。
PSカル	葉先枯れの予防。果実の軟化防止。尻腐れ果の予防。

コメント

先日圃場にて生育状況を確認させて頂きましたが、程度の差はあるものの、葉にマダラ症状が見られました。マグネシウムおよび微量元素が不安定です。但し、施肥メニューの調整だけではなく、根の働き(PSマリンパワー)と、光合成能力を高める(アーキア酵素むげん)事が必要です！樹液濃度が低いです。

かん水だけではなく、葉面散布の併用が効果的です。

以下の①と②と③を、順番に(5~7日おきを目安に)、葉面散布して下さい。

①：発根促進、葉色(マダラ)の改善、②：光合成促進、樹勢の安定、③：養分転流の促進、茎葉の強化。

① PSマリンパワー：2,000倍 + アーキア酵素むげん：1,000倍 + PSキレート5：1,500倍

② PSマリンパワー：2,000倍 + アーキア酵素むげん：1,000倍 + PSパワーアミノ2号：1,000倍

③ アーキア酵素むげん：1,000倍 + PSダッシュMEネオ：1,500倍 + PSカル：1,500倍

この結果は、当研究所に持ち込まれたサンプルの分析値です。サンプリングの方法、環境や管理上の条件等の変動要因により、この結果及びそれに対する処方が作物に十分反映されなかったとしても、当研究所は一切責任を負いません。処方は分析結果及び農家からの聞き取りを基に忠実に行われたものです